

**2015年1月期1月度 月次業績動向（2014年12月21日～2015年1月20日）**
**会社名 ピープル株式会社**

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕千鶴子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

科目	《月次の対比》			《期初からの累積の対比》			《第4四半期会計期間の対比》		
	2014年1月期 1月度	2015年1月期 1月度	前年 同月比	13/1/21～ 14/1/20	14/1/21～ 15/1/20	前年 同期間比	13/10/21～ 14/1/20	14/10/21～ 15/1/20	前年 同期間比
売上高	126,622	201,375	159.0%	3,260,272	3,526,309	108.2%	1,005,348	1,178,064	117.2%
営業利益	△78,626	△23,456	N/A	124,597	316,133	253.7%	116,339	174,667	150.1%
経常利益	△45,929	△30,193	N/A	198,069	329,903	166.6%	139,588	183,122	131.2%
税引前利益	△45,929	△30,194	N/A	198,061	329,893	166.6%	139,580	183,123	131.2%

流動資産	2,024,098	2,277,118	112.5%
固定資産	168,035	185,678	110.5%
流動負債	266,881	392,911	147.2%
固定負債	53,118	53,929	101.5%
純資産	1,872,134	2,015,956	107.7%
総資産	2,192,133	2,462,796	112.3%

**【2016年1月期第1四半期会計期間  
(2015/1/21～2015/4/20)業績予想】**(2015年3月4日発表)

- ・売上高: 7億90百万円(前年同期比7.6%増)
- ・営業利益: 77百万円( " 24.1%増)
- ・経常利益: 77百万円( " 30.1%増)
- ・四半期純利益: 50百万円( " 35.6%増)

**商品別売上高**

商品カテゴリー名	2014年1月期 1月度	2015年1月期 1月度	当月 構成比	13/1/21～ 14/1/20	14/1/21～ 15/1/20	当期間 構成比	13/10/21～ 14/1/20	14/10/21～ 15/1/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	27,556	72,612	36.1%	1,096,102	1,231,444	34.9%	353,936	398,188	33.8%
女兒玩具	33,141	45,688	22.7%	651,892	722,334	20.5%	256,871	267,710	22.7%
遊具・乗り物	19,814	16,609	8.3%	546,300	546,859	15.5%	150,324	184,321	15.7%
その他	46,111	66,467	33.0%	965,978	1,025,672	29.1%	244,217	327,845	27.7%
合計	126,622	201,375	100.0%	3,260,272	3,526,309	100.0%	1,005,348	1,178,064	100.0%

**1月度新発売商品**

当月新発売した商品はありません。

前月12月度の暮れ商戦の腰折れ感から、年明けは一転、玩具部門中心に補充注文が跳ね上がり、商品によっては想定以上の注文に入荷が間に合わず欠品まで起こす程となりました。当38期最終月の1月度の総売上高は2億1百万円、前年同月対比で59%増まで上回りました。海外販売は予定通り進行しており、こうした玩具部門の上方修正は、当期末通期予想売上を1億円強上乘せする回復に繋がりました。

前月12月度でご報告した“ピタゴラスシリーズ”の絶好調は、年明け更に過熱し、流通からは『年末のような注文だ』と評価される程となり主力品の欠品も起きました。“お米のシリーズ”は年末も好調でしたが、年始商戦にもすこぶる良く回転した様子です。高額品の補充注文が跳ね上がった事から乳児・知育玩具カテゴリーの単月売上は前年同月対比263%に達しました。女兒玩具では、“お人形シリーズ”の人形本体が伸びた事で、暮れに購入したお人形を持っている女の子の買い足しが上昇、同封の「ぼぼちゃんと遊ビデオ(DVD)」最新版の影響も重なり、お道具のセリアウトは近年ない上向きトレンドです。

遊具・乗り物では主に外用遊具が寒波に影響され、玩具のような補充の勢いはないものの、定番品のセリアウトは順調です。

当1月度は期末決算に当たり、決算に伴う調整額が当月利益段階に含まれております。期末決算の詳細につきましては、本日開示の「平成27年1月期決算短信(非連結)」をご参照下さい。